

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	糸魚川市立能生小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	なかよしランドで育む愛と命

〈活動・研究の意義および活動報告〉

1、活動に至る経緯

本校の中庭「なかよしランド」を中核に、児童を取り巻く「人・もの・こと」とつながっていく「なかよしランドで育む愛と命」の意義は3つあると考えた。

1つは、なかよしランドで児童同士が関わることで、学年の友だちとのつながり(愛)を育むことができる。なかよしランドでは「一人残らず、仲良く遊ぶためにはどうしたらいいか」を常に児童が考え活動していく。また、新しい遊具をつくる、遊び方を考えるなどより楽しい空間にしていくための構想を児童が考え、実現していくことは、子どもたちの主体性が生まれ、他者とのつながり(愛)も育むことができる。

2つは、なかよしランドに「動物園コーナー」を設けることが想定できる。また、児童が中型の動物(ヤギ)に愛着をもつことを原動力に、自身の出来ることを増やすことができる。ヤギには感情があるが、言葉で伝えることができないため、子どもたちがヤギの行動や声を理解してあげなくてはならない。そのため、ヤギと上手に付き合うことができたなら、自分とは違う相手のことを考えて付き合うこと(愛)にもつながると考える。また、ヤギのように自分の身体の大きさに近い動物の温かさを肌で感じることで、命の大切さを感じ、飼育活動と様々な教科とを関連付けることで、体験と言語を通して、愛や命について深く実感していくと考える。

3つは、児童がなかよしランドに園児や他学年児童、保護者、地域の人を招き児童の創った「なかよしランド」を認めてもらうことで、自分自身の存在も確かとなり、自己肯定感を高めていくことにつながる。同時に、児童が多くの人とかかわることで、生まれ育った地域への所属感が醸成され、「ふるさと能生」への愛着が高まり、元気にすることにつながる。

2、活動・研究の目的(ねらい)

- ・「なかよしランド」での活動を通して、一人ではできない仲間との協働作業や仲間そのものの大切さを実感し、思いやりの心を育む。
- ・「なかよしランド」でのヤギ飼育を通して、育つ場所、変化や成長の様子に関心をもつ。また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にできるようにする。
- ・「なかよしランド」を園児、他学年児童、保護者、地域の人に紹介する活動を通して、多くの人が喜び元気になることや自身の行為が認められることで、自己肯定感を高める。

3、活動内容

(1) なかよしランドにヤギさんの小屋を作ろう

1学年の保護者や他学年の建設業を営む保護者、能生地域の企業に協力していただき、能生小学校の中庭にヤギ小屋を建設した。子どもたちは小屋の中に藁を敷いたり、壁に動物への思いを描いたタイルを貼ったりするという形で主体的に活動した。藁は、能生地域の企業「株式会社はしだて」様からご協力いただき、稲わらの端材を分けてもらい、子どもが学校まで運んだ。また、タイルも能生地域の「笠原商事」様からご協力いただき、職員の方からタイルの貼り方や扱い方を学んだ。能生の企業と関わることで、地域と深く繋がる良いきっかけとなった。



(2) ヤギさんのお世話をしよう

「荻谷畜産株式会社」様から能生小学校へ子ヤギを2頭迎えた。「子ヤギでもご飯が食べやすいように」と、子どもたちはハサミでチモシーを食べやすい大きさに切ったり、小屋を清潔に保つために糞を取ったり飲み水を新しいものに変えるなど、毎日一生懸命ヤギの世話をした。時にはグラウンドまでヤギと散歩に行き、引きずられながら思いっきり一緒に走って遊んだ。ヤギの世話を通して相手の気持ちを考えることの大切さ、生命の尊さ、命を預かることの大変さを実感した。

(3) ヤギさんの交流会

1年生が飼育する2頭のヤギを、近隣の小学校や保育園に紹介する活動を行った。南能生小学校との交流会では、ヤギの紹介をしたり、一緒に走って遊んだりした。この交流会を通してメッセージの送り合いをすることができ、他校の子どもたちに自分たちの活動が認められていく良いきっかけとなった。能生保育園との交流会では、子どもたちがヤギを散歩しながら保育園まで連れて行った。保育園の子どもたちが喜んでくれるように、ヤギの紹介に加え、クイズを出したり、餌のあげ方、ヤギの触り方などを教えたりした。保育園の子どもたちを喜ばせ、小学校に楽しさを感じさせる活動となった。交流会を行い、年齢が異なる縦の繋がり、他校の同学年との横の繋がりも深まった。



4、子どもたちへの効果

- ・児童が「なかよしランド」を設計することを原動力に、自分の出来ることを増やすことができた。
- ・ヤギを同じ仲間として迎え入れ、ヤギのためにできることを考える活動を通して、命の大切さを実感し、相手に対する思いやりの心(愛)を育み、相手の立場に立って考える力が養われた。
- ・「なかよしランド」で育てたヤギを他の学校の児童や園児、地域の人々に紹介する活動を通して、他者とかかわる力を発揮した。